

## 令和5年度 鯖江高等学校 定時制 学校関係者評価書

- (問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。  
 ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。  
 ・スクールポリシーを踏まえた評価となっているか。  
 ・その他

- (意見を聞いた方)  
 ・育成会会長  
 ・育成会副会長

(意見欄)

○教育課程・学習支援	・成果と課題、および今後の改善策・向上策については適切である。
○生徒支援	・成果と課題、および今後の改善策・向上策については適切である。 ・生徒一人ひとりのニーズに合わせて見させていただいているのでありがたい。 ・学校は学校のやり方があると思うが、定時制の始業時間は、中学校や全日制高校に比べて遅いので、子どもの日々の生活習慣が乱れることがある。
○進路支援	・成果と課題、および今後の改善策・向上策については適切である。 ・生徒個々に応じて取り組んでいてくれるので言うことはない。
○安全管理・施設設備	・成果と課題、および今後の改善策・向上策については適切である。 ・「保健のことです」は時々見るが、子どもが出てこないことが多い。 ・清掃について、真面目に丁寧に取り組んでいると思うが、そこからどうしようという応用がきかない。どこまで説明し、教えていいものか、考えさせた方がいいのか、先生方はいろいろな方法を検討して指導をお願いしたい。
○開かれた学校づくり	・成果と課題、および今後の改善策・向上策については適切である。 ・子どもが何も提出してこないの、HPをよく見る。新しくなった点もあるが、更新されていない点がある。
○全体(総括)	・成果と課題、および今後の改善策・向上策については適切である。 ・保護者から直接電話で子どもにしてほしいことや学校への要望などの連絡はあるのか。 ・学校に何度か電話をさせていただいたことがあるが、そのときに必ず担任の先生が出るとは限らない。要件を電話に出た先生に伝えてもいいものか迷ったことがあった。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・すべての項目について、ほとんど目標値を達成し、概ね満足を得られる成果だった。学校全体がアットホームな雰囲気になるよう配慮しながら、全教職員でチームとして生徒一人ひとりの支援・指導にあたってきたことが一定の成果と評価につながったと考える。
- ・近年、入学してくる生徒が多様化しており、進路希望も多岐にわたっている。キャリアテストは、学年を解いて進路希望に応じて実施しているが、生徒のニーズ・実情を把握し、個々にも対応できるものにしていく必要がある。
- ・保護者にも学校行事の日程をしっかり把握してもらえように取り組む。
- ・就業体験、インターンシップなどをさせながら、できるだけ早い時期に自分に適した進路を見つられるように支援していく。
- ・衛生面や健康面に関して、生徒一人ひとりが心がけられるよう啓発していく。
- ・ホームページの更新に関して、学校行事等があった後は、その活動時の写真や様子をアップして保護者の学校に対する理解を深められるように取り組む。